

## 令和7年度入学式 式辞

冬の寒さも和らぎ、桜の花が咲きほこり、ようやく春の日差しを感じるようになりました。新入生39名のみなさん、ご入学おめでとうございます。みなさんの入学を在校生、教職員一同、心まちにしていました。

また、本日の入学式を挙行するにあたり、公私何かと、ご多用の中、多数の皆様方に、ご来賓として、ご臨席を賜り、新入生の入学をお祝いくださいまして、誠にありがとうございます。

加えて、平素より、本校教育活動に深いご理解と多大なご支援をいただきまして誠にありがとうございます。高い所からではございますが、心からお礼申しあげます。

さて、新入生のみなさん。いよいよ今日から中学生です。小学校6年間の教育課程を終えられ、「児童」と呼ばれていたみなさんは、今日からは「生徒」と呼ばれるようになります。

す。これは単に呼び方が変わっただけでなく、皆さんが、一歩大人に近づいたことを自覚してほしいという願いが込められています。今、壇上から皆さんの顔を見ていると、これから始まる新しい生活への大きな期待に胸を膨らませている様子がうかがえます。逆に、緊張や不安で胸がいっぱいになっている様子もうかがえます。

どちらが正しい、どちらが間違っているとかはありません。今の正直な、そして素直な気持ちを大切に胸に刻んでおいてください。

そんな新入生のみなさんに、これからの中学校生活で大切にしてもらいたいことを4つお話しします。

1つ目は、1時間1時間の授業を大切にすることです。このことは、小学校でも同じだったかと思いますが、中学校でも同様です。教科の数や種類が変わったり、毎時間毎時間の授業の先生が変わったりと、小学校との違いに戸惑うこともあるかもしれません。常日

頃から「授業は学校の命」と言っています。一時間一時間を真剣勝負で臨んでください。先生方も、同じ気持ちで臨みますし、懸命にサポートしたいと考えています。

2つ目は、あらゆる場面で気持ちのよい「あいさつ」をすることです。よく地域の皆様や、中学校に来られるお客様から、「木津中学校の生徒さんは気持ちのよいあいさつをしてくれますね。」というお褒めの言葉をいただきます。このことは、木津中学校のよい「伝統」の1つと言えます。「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」はもちろんのこと、「ありがとうございます」や時には「ごめんなさい」も素直に言えるようになります。挨拶は、人とのコミュニケーションを良くするための「入り口」です。学校でも家庭でも、地域でも自然にできるように心がけましょう。

3つ目は、「時間」を守ることです。学校は集団生活の場です。その集団生活をス

ムーズに送るためにも、決められた時間を守るということはとても重要になります。具体的には、朝の登校時間はもちろんのこと、授業と休み時間の切り替え、そして、宿題や課題などの提出期限など、さまざまな場面で「時間」を守ることが求められます。そして、そのことは、みなさんの将来の生活においても大切になります。先ほど、「あいさつ」はコミュニケーションへの「入り口」と言いましたが、「時間」を守ることは、人との信頼関係を築くための「入り口」になると考えます。

そして、最後の4つ目は、「思いやり」の心や気持ちをもつことです。学校ではいろいろな仲間と共に生活をします。当然、人それぞれに「違い」があります。逆に、全く同じ人はいません。それぞれの個性や特性は、大切にされるべきものであって、決して否定できるものではありません。互いに理解しあい、認めあい、尊重しあえる関係を築いていきましょう。また、外国から様々な事情で日本に来て、この木津中学校に通う仲間もいます。そんな彼らは、中学校の勉強に加えて、「日

「本語」の勉強も一緒に頑張ることになります。木津中学校に通うみんな一人ひとりが、ほんの少しの「気づかい」や「優しさ」で、誰もが安心して楽しく過ごせる学校になります。「思いやり」の心をもつことは、安心・安全な学校をつくるための「入り口」になります。

以上、4つの大切にしてもらいたいことをお話しましたが、後ろに座っている先輩たちは、これらをすでに実践してくれていますので安心してください。生徒会活動や部活動を通じて、みなさんと一緒に、このよき木津中学校の伝統を、さらに良いものへと紡いでいきましょう。

奇しくも、今年、令和7年（2025年）は、いろいろなことがあります。まずは、今日から10日後の4月13日に、大阪・関西万博が開幕します。国内外から、多くの人がみなさんの地元大阪を訪れることでしょう。また、もっと身近なところでは、今年は、浪速区が区制100周年を迎えます。地域ではさまざまなイベントや企画が計画されてい

ます。みなさんも参加して一緒に祝いできるといいですね。一方で、夏には太平洋戦争の終戦から80年を迎えます。木津中学校では、人権学習の一環で、平和学習に取り組みます。過去の惨禍から、平和とは何か？そのために何が必要なのか？について、最大の人権侵害の一つと言われる過去の戦争から学びます。そんな節目の年にみなさんは中学校入学となったのも、みんなの記憶に深く刻まれていくことでしょう。

最後になりましたが、保護者の皆さん、お子さまのご入学おめでとうございます。心よりお祝い申しあげます。本日より、大切なお子さまを本校でお預かりいたします。私たち教職員は、お子さまの知・徳・体の調和のとれた真の「生きる力」を育めるよう、さまざまな教育活動に邁進してまいります。ご家庭との緊密な連携を土台に、温かく見守り、寄り添いながら、子どもの健全な育成を図って参ります。ご理解ご協力を願いいたします。

結びに、この木津中学校が地域に根差した  
暖かい学校であり続けることをお誓いする  
とともに、本日の入学式に関わったすべての  
みなさまに感謝を申しあげ、式辞といたします。

令和7年4月3日  
大阪市立 木津中学校  
校長 田中 淳